



東北大学

サイエンス・アンバサダー 活動報告書 2024

東北大学サイエンス・アンバサダーとは -About US-

東北大学サイエンス・アンバサダー(以下SAと略す)は次世代女性研究者の育成を目的として2006年に創設された制度(当初はサイエンス・エンジェル)で、本学の有志の女子大学院生(性自認が女性も含む)が総長に任命されて様々な活動を繰り広げています。例えば、SAは小中高生にセミナーやイベントで自然・人文・社会科学に携わる女性研究者の身近なロールモデルとして、科学や研究の面白さと魅力を伝え、将来の夢を育む機会を提供しています。同時にSA自身も男女共同参画やダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンに関するシンポジウムやスキルアップなどの機会を通じて自己・相互研鑽し、研究者としての使命感の意識醸成に努めています。



Tohoku University Science Ambassadors 2024

活動方針 -policy-



小・中学生や高校生に対して科学の魅力を伝えつつ、身近なロールモデルとなることを通じて次世代の研究者を育成



研究に従事する使命感・責任感の醸成・研究者の卵としてのスキルアップ



世代や分野を超えた女子学生・女性研究者ネットワークの構築



Activity 1 出張セミナー・見学対応

主に中学生・高校生を対象に、研究や大学生活について実際の体験に基づいてお話をします。



Activity 2 科学イベント

子ども向けに科学を身近に感じてもらえるような実験や工作を行い、研究への興味を喚起します。



Activity 3 オープンキャンパス

東北大学のオープンキャンパスにおいてセミナーを開催し、大学進学に興味を持つ中高生の疑問・相談に答えます。



Activity 4 note

研究・大学院生活・進路選択の経験や、仙台の魅力、一人暮らし事情、座談会レポートなどについて、SA自身が執筆しています。

東北大学は日本初の「女子大学生」が誕生した大学です

東北大学が誕生した明治末頃の日本の大学は、旧制高校を卒業した男子学生のための学校であり、正規の学生身分で女性が大学に入学することは考えられていませんでした。ところが、大正2年(1913)にその「常識」を破る事件が起こりました。創立間もない東北帝国大学が、独自の判断で4人の女性の受験を認めたのです。

入学試験のさなか、文部省は「元来女子を帝国大学に入学せしむることは前例これ無きことにて頗る重大な事件にこれあり大いに講究を要し候」云々と事情説明を求める書簡を大学に送りますが、大学は委細かまわず、黒田チカ、牧田らく、丹下ウメ3人の合格を発表、ここに日本初の「女子学生」が誕生することになったのです。

3人の女子学生はやがて卒業して女性初の「学士」となり、その後も副手や大学院生として数年間大学での研究生生活を送りました。



黒田チカ

牧田らく

丹下ウメ

2024年度活動内容

オープンキャンパス



日時 2024年7月30-31日(火・水) 12:00-13:30
会場 理学研究科合同A棟共通講義室

今年は2つの会場で、研究内容紹介の講演とポスターによる学部紹介を行い、入試や大学生活について来てくれた中高生とお話しました。またSAの活動紹介なども行いました。



加藤 ひらり

- 所属/理学研究科 化学専攻
- SA経歴/2年
- 卒業後の進路/お菓子メーカー(UHA味覚糖)研究開発職
- 参加SAコメント/主に中高生向けに研究内容の発表を行いました。発表後に興味を持って質問してくれる方も居りましたが、「分かりやすく伝える」ことを意識することで自身の研究への理解も深まりました。SAの活動を通して科学の楽しさを伝えることを経験し、発信することの意味も学べました。今後もSA活動の発信力に期待しています。

「8/21 女子大生の日」記念イベント メタバースでオープンキャンパス



日時 2024年8月7日(水) 13:00-15:00
会場 オンライン

今年の女子大生の日は、初のメタバースに挑戦し、SAも中高生も手探りで頑張りました。キャラクターの姿で、来てくれた中高生と進路や大学生活についてお話ししたのは新鮮な体験でした。



倉品 有佳

- 所属/教育学研究科 総合教育科学専攻
- SA経歴/1年
- 参加SAコメント/SAは毎年、東北大学の「女子の日」に参加しています。今年度は「メタバースでオープンキャンパスになりたい自分になる」と題して中高生や保護者の方々と交流しました。メタバースでの交流はアバターを介したものだからこそ中高生たちの本音に切り込むことができます。本音で語る中で研究の楽しさに改めて気づかされる貴重な経験でした。

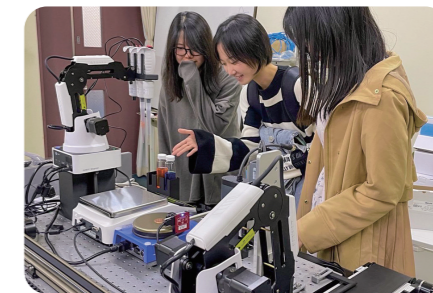
楽しい理科のはなし2024



日時 2024年8月20日(火)10:30-17:30
会場 東京エレクトロンホール宮城

夏休み期間中に親子で実験を楽しめる科学イベントを行いました。お土産にすると万華鏡を作る子もいました。

DX・GX



日時 通年
会場 学際フロンティア研究所

AIや3Dプリンターを駆使し、開発を行っています。今年度は学際フロンティア研究所の先生と共同で実験自動化に向けて試作品の開発を行いました。

SAが
note記事を執筆



名取実験教室



日時 2024年10月19日(土) 10:00-11:30
会場 名取市館腰公民館

名取市館腰公民館で、LEDを使った実験をしました。理科が大好きな小学生がたくさん参加してくれました。

鍋嶋美佳先生 との懇親会

山形西高校オンライン訪問



日時 2024年12月26日(木) 14:10-16:00
会場 オンライン

山形西高校1~2年生を対象にSAやSAが所属している研究室の教授から研究内容や進路の紹介を行いました。SAや教授からの話を興味深く真剣に聞く生徒さんたちが多かったです。

まちぶらサイエンス



日時 2025年
3月20日(木・祝)OA
会場 大和町

小島よしおさんと一緒に自然豊かな大和町で身近にある科学について考える番組を制作しました。現地の小学生とともに鉛づくり体験や半導体に関する実験などを行いました。



曽我 ゆふき

- 所属/生命科学研究科 脳生命統御科学専攻
- SA経歴/1年
- 参加SAコメント/ロケ当日までの打ち合わせや準備を通じて、普段の研究生活では味わえない貴重な経験ができ、とてもワクワクしました！ロケ当日は緊張もありましたが、それ以上に楽しく、異なる分野のSAさんともたくさん交流ができ、仲を深められたことが嬉しかったです。

サイエンス・アンバサダー(SA)の活動の詳細はこちらから→



オリエンテーション

ロンダ・シービンガー教授とのランチミーティング



日時 2024年11月14日(木) 11:00-12:30
会場 DEI推進センター

ジェンダーが科学にもたらす影響を研究されているシービンガー先生と、普段の研究活動でのジェンダー差についてお話ししました。

DEI シンポジウム

ふくしま探究の種 (外部インタビュー)



